

ULTRABASS BXL450/BXL900/BXL1800/BXL3000/BXL450A/BXL900A/BXL1800A/BXL3000A

取扱説明書



バージョン 1.1 2005 年 12 月



www.behringer.com



安全にお使いいただくために



注意： 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れず、故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。

警告： 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が通じています。手を触れると感電の恐れがあります。



取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



テクニカルデータや製品の的外観は予告なしに変更される場合があります。各社名や出版物、ロゴ等はすべて各所有者の登録商標です。これらの使用は、BEHRINGER® による登録商標の主張も BEHRINGER® と登録商標所有者との提携を意味するものでもありません。BEHRINGER® 社は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害、不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。製品のディストリビューター（配給元）およびディーラー（販売業者）は、BEHRINGER® の特約代理店ではなく、これらは明示 暗示を問わずあらゆる行動および表現によって BEHRINGER® を拘束する権限を一切有しません。本取扱説明書に記載された情報内容は、BEHRINGER Spezielle Studiotechnik GmbH からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。BEHRINGER® は登録商標です。

ALL RIGHTS RESERVED. © 2005 BEHRINGER Spezielle Studiotechnik GmbH.
BEHRINGER Spezielle Studiotechnik GmbH
Hanns-Martin-Schleyer-Str. 36-38
47877 Willich-Muenchheide II, Germany
Tel. +49 2154 9206 0, Fax +49 2154 9206 4903

安全にお使いいただくためのより詳細な注意事項

取扱説明書を通してご覧ください。

取扱説明書を大切に保管してください。

警告に従ってください。

指示に従ってください。

本機を水の近くで使用しないでください。

お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。

本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

付属品は本機製造元が指定したのもののみをお使いください。

カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。



雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードまたはプラグが損傷した場合、本機内部に異物や水が入った場合、雨や水分で濡れた場合、本機が正しく作動しない場合、もしくは本機を落下させた場合は、当社指定のサービス技術者に修理をご依頼ください。

注意 - これらの指示は、資格のあるサービス技術者に向けたものです。感電の危険を防ぐため、有資格者以外は、装置の操作方法に記載された内容以外の整備は、行わないようにしてください。

ULTRABASS BXL450A/BXL900A/BXL1800A/BXL3000A

1. 導入

最先端のベースワークステーション ULTRABASS シリーズ製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。この ULTRABASS は、BUGERA™ スピーカーを備えた強力な 2 チャンネルベースアンプです。余裕の出力によって、必要な時にいつでもエクストラパワーを供給することが可能です。搭載された性能の数々も実に優れたものばかり。ULTRABASS にはクリーンチャンネルとディストーションチャンネルが搭載されており、うち一つには FBQ 周波数ディスプレイを装備したイコライザーを搭載、どの低域周波数がどのコントローラーにアサインされているのかが一目で分かるようになっており、サウンドのファインチューニング時に大きな威力を発揮します。リミッター回路は、最大音量時にも装置をオーバーロードによる歪みから保護します。ヘッドフォンおよび CD プレイヤー用のコネクタは、自宅練習時に非常に便利です。

この説明書では装置の機能を理解するために必要となる専門用語が解説されています。必要に応じて再読できるよう、説明書は一度読み終わった後も大切に保管して下さい。

1.1 ご使用の前に

1.1.1 出荷

ULTRABASS は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一包装ダンボールに損傷が見られた場合には、装置外面部の損傷もご確認下さい。

装置が万一損傷している場合には、保証請求権が無効となる恐れがありますので、製品を当社へ直接返送せず、必ず販売代理店および運送会社へご連絡下さい。

本製品の保管や運送の際には、製品への損傷を避けるため、常にオリジナルの梱包を使用するようにしてください。

製品および梱包材などは、お子様の手の届かないところに保管してください。

梱包材などの環境保護に適した廃棄を心がけてください。

1.1.2 スタートアップ

ULTRABASS の過熱を防ぐため、十分な換気の確保に留意し、装置を暖房などのそばに接地することはお避け下さい。

ULTRABASS をコンセントに接続する前に、装置本体が供給電源に合わせて設定されているかどうかを必ず確認して下さい。

メインコネクタのヒューズホルダーには 3 つの三角形マークが記されています。このうち 2 つの三角形は向かい合った位置に記されており、ULTRABASS はこのマークの横に記された電圧にセットされています。ヒューズホルダーを 180 度回転させると、この設定を変更することが出来ます。注意: この項目は特定の供給電圧用に設定されている輸出用モデルには当てはまりません。

装置本体を別の電圧に設定する場合は、別の安全装置を使用する必要があります。正しい設定値は「テクニカルデータ」の項目に記載されています。

安全装置が故障している場合は、正しい値の安全装置と交換して下さい。設定値に関して「テクニカルデータ」の項目をご覧ください。

電源への接続には付属の標準型 IEC コネクタ付きケーブルを使用して下さい。このケーブルは必要な安全基準を満たしていません。

すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。使用者自身の安全のため、電源ケーブルや装置自体のアースを取り外したり使用不能とすることは絶対にお止め下さい。必ずアース接続を行ってください。

2. コントロールパネルと接続端子

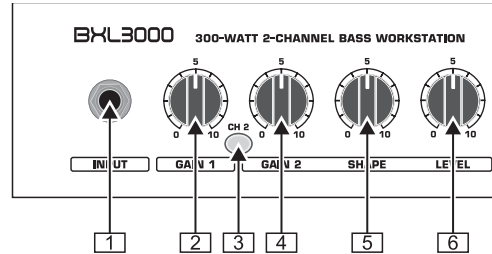


図 2.1: 入力セクション

- INPUT. ベースギターをこの入力端子に接続します(6.3 mm TS フォンジャック)。
 - この GAIN 1 でチャンネル 1 の入力ゲインを調節します。
 - CH 2 ボタンを使って 2 つのチャンネルを交互に切り替えることが出来ます。この CH 2 ボタンは、チャンネル 2 が起動すると点灯します。BXL1800, BXL3000, BXL1800A および BXL3000A のモデルでは、装置に付属するフットスイッチを使用してチャンネルを選択することが可能となっています。
 - GAIN 2 コントローラーは、チャンネル 2 の歪み率を設定します。コントローラーを時計回りに廻すと、歪み率が高くなっていきます。
 - SHAPE は、好みのサウンドを作り上げるための特別なフィルターです。ベースサウンドをシェイピングするための数多くのオプションを備えています。シェイプ機能の使用例は、第 3.2.2 章をご覧ください。
- シェイプフィルターはチャンネル 2 でのみ機能します。チャンネル 1 は未処理のままです。
- LEVEL コントローラーを使ってチャンネル 2 の音量を調節します。このコントローラーで、チャンネル 1 と 2 の間の音量バランスを調節してください。

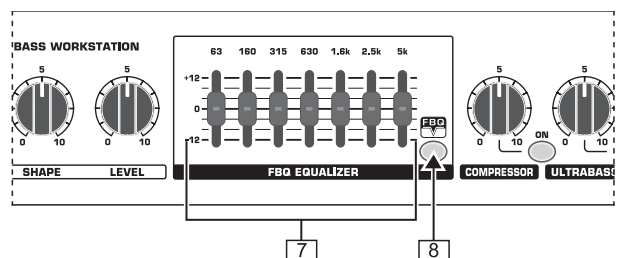


図 2.2: FBQ EQUALIZER

- FBQ EQUALIZER には 7 つのフェーダー (BXL450 と BXL450A は 5 フェーダー) が各周波数帯域に備えられています。ブースト/カットの最大値は 12 dB です。
- FBQ スイッチは FBQ スペクトラムアナライザーを起動させます。FBQ オフ時と同様の明るさを持つコントロール LED が、異なる明るさで点灯することによって、各周波数帯域のレベル量を表示します。イコライザー機能は、FBQ 機能とは関係なく常にアクティブな状態です。FBQ 機能に関する詳細は、第 3.2.1 章をご覧ください。

ULTRABASS BXL450/BXL900/BXL1800/BXL3000

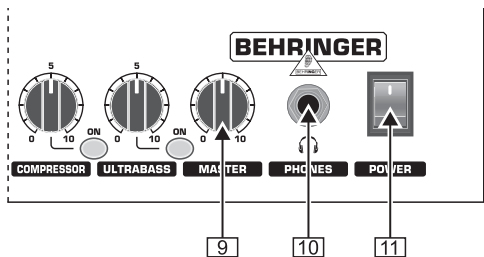


図 2.3: マスターセクション

- 9 全体のボリューム調節は MASTER コントローラーを使います。
- 10 この PHONES 端子 (6.3 mm TRS ステレオフォンジャック) は、ヘッドフォン接続用です。BEHRINGER HP シリーズのヘッドフォンが最適でしょう。この端子を使用中は、内蔵ベーススピーカーはミュートされます。
- 11 この POWER スイッチを使って ULTRABASS 本体に電源を投入します。電源コンセントに接続する際にこのスイッチが「オフ」になっていることをご確認ください。

本装置の POWER スイッチをオフにしても主電源が完全に切れたわけではありませんので、本体を長期間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。

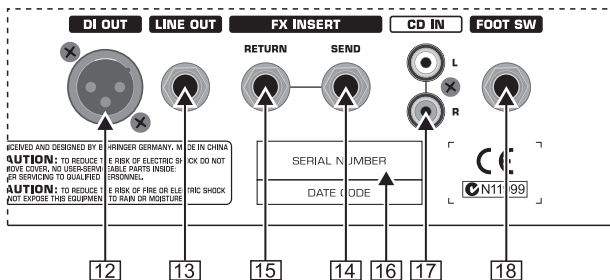


図 2.4: リアパネルの接続端子類 (BXL1800, BXL3000, BXL1800A および BXL3000A)

- 12 ULTRABASS からのオーディオ信号をミキサーの入力端子にルートさせる場合は、このバランス型 DI OUT 出力 (XLR コネクター) を使用します。信号は、ちょうどイコライザーと MASTER コントローラーの中間地点から取られます。
- 13 信号を出力 12 から取る代わりに、LINE OUT 信号 (6.3 mm TS フォンジャック) を使用することも可能です。
- 14 + 15 FX INSERT: ULTRABASS には、ワウペダルやフロアエフェクター、もしくは 19 インチ ラックエフェクターなどの外部機器接続用のインサートパスが装備されています (BXL450 および BXL900 または BXL450A および BXL900A 以外)。SEND ジャック 14 をエフェクト機器の入力端子に接続してください。エフェクト機器の出力端子を ULTRABASS の RETURN 端子 15 と接続します。SEND 端子に供給される信号には、ULTRABASS エフェクト信号 23 は含まれていません。
- INSERT SEND は、例えばチューナー接続用のパラレル出力としても使用可能です。RETURN 端子が使用されていない限り、内部信号パスが途切れることはありません。
- 16 シリアルナンバー。
- 17 CD IN 入力端子 (ピンジャック) は、外部ステレオ信号接続用です。CD や MD、ドラムコンピューターなどによるお好みの音楽に合わせて演奏することが可能です。
- BXL450, BXL900, BXL450A および BXL900A においては、CD IN 端子はフロントパネルに装備されています。

- 18 BXL1800, BXL3000, BXL1800A および BXL3000A には、デュアルフットスイッチが付属しています。このフットスイッチを FOOT SW (ITCH) 端子に接続してください。フットスイッチを使用してチャンネルを切り替え CH 2 ボタン 3 に該当)、ウルトラベース機能を起動 ON ボタン 24 に該当)させることが出来ます。

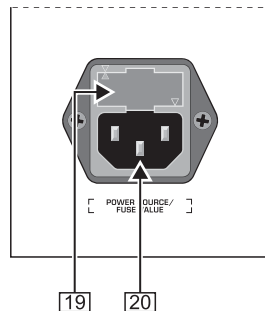


図 2.5: ヒューズホルダーと標準 IEC コールドケーブル (リアパネル)

- 19 ヒューズホルダー/電圧セレクト: 装置を電源に接続する前に、供給電圧と電圧の表示が一致しているかどうかを必ずご確認ください。ヒューズ交換の際には必ず同じタイプのものを使用して下さい。装置によっては 230 V と 120 V の切替を行うため、ヒューズホルダーが 2 つの位置で使用されている場合があります。ヨーロッパ地域以外で 120 V の機器をご使用になる場合は、より大きな値のヒューズが必要となります。
- 20 電源への接続には標準型 IEC コネクター付きケーブルを使用します。専用ケーブルは本体装置に付属しています。

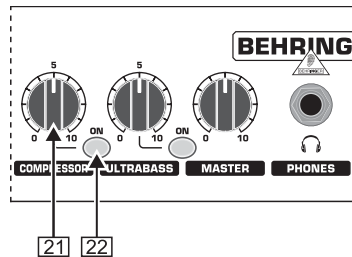


図 2.6: COMPRESSOR 機能 (BXL1800, BXL3000, BXL1800A および BXL3000A のみ)

- 21 COMPRESSOR コントローラーはコンプレッサーの強度を調節します (第 3.2.4 章参照)。
- 22 ON スイッチでコンプレッサーを起動させます。

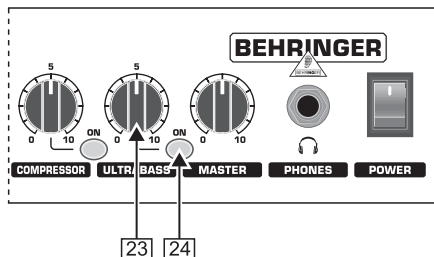


図 2.7: ULTRABASS 機能 (BXL450 および BXL450A 以外)

- 23 ウルトラベース機能を起動させたら (ボタン 24)、ULTRABASS コントローラーを使ってベース信号に超低周波数を加えてください。ULTRABASS 効果は、両チャンネルで使用可能です (第 3.2.3 章参照)。
- 24 ON ボタンを押すと ULTRABASS 機能が起動し、ボタンの LED が点灯します。装置に付属するフットスイッチを使っても、この効果を操作することが可能です (BXL900 と BXL900A 以外)。

3. 操作を始める前に

3.1 ベースを接続してスタート

ULTRABASS アンプを接続して、さあ、今すぐにそのサウンドを確かめることにしましょう！

- ▲ 装置に電源を投入する前に、楽器を入力端子 [1] に接続します。接続には標準的な 6.3 mm TS フォンジャックの楽器ケーブルを使用してください。
- ▲ MASTER コントローラーを左端まで絞りきってから、イコライザー、コンプレッサーおよびウルトラベース機能のスイッチ（それぞれ [9]、[22] および [24]）を切り、ニュートラルなサウンドからスタートします。
- ▲ GAIN コントローラーをちょうど中間の位置に設定します。
- ▲ POWER スイッチ [11] を使用して ULTRABASS を起動します。その後、MASTER コントローラー [9] を使ってお望みの音量レベルに調節します。

ULTRABASS にはチャンネルセレクター [3] で切り替えられるチャンネルが 2 つ備わっています。チャンネル 1 が起動している場合 ボタン LED はオフ状態、GAIN 1 コントローラー [2] は入力感度の調節に使用できます。

チャンネル 2 は歪みサウンド用です。シェイプコントローラー（第 3.2 章参照）を使い、チャンネル 1 とはまったく異なるよりラウドで、歪んだサウンドをチャンネル 2 に設定します。GAIN 2 コントローラー [4] を使ってチャンネル 2 の入力レベルを調節します。このコントロールは歪み量の調節も行います。信号がうるさくなりすぎた場合は、LEVEL コントローラー [6] を使ってボリュームを下げ、チャンネル 1 の音量をあわせてください。こうすることで、チャンネル切替時の極度な音量差を無くすことができます。

3.2 サウンド処理

ULTRABASS はベースサウンドを変更するための各機能が備えられています。これらのサウンド処理機能についてこの章で説明していきます。

3.2.1 FBQ イコライザー

イコライザーはグラフィック 7 バンド EQ (BXL450 および BXL450A は 5 バンド) となっており、FBQ スペクトラムアナライザーとしても機能します。スライドコントロールがゼロの位置になっていると、ベース信号は一切処理されません。

- ▲ スライドコントロールを上にと上げると、特定の周波数帯域のレベルが上昇します。
- ▲ 音量を下げる場合は、コントロールを下に下げます。

各コントロールには LED が装備されており、これが異なる明るさで点灯することによって、該当する周波数帯域のレベルが表示されます。これによってサウンド処理を行いたいコントロールがすぐに分かります。FBQ スイッチ [8] を押すと FBQ ディスプレイが起動します。サウンドがぼやけていたり、ブーンと唸っている場合は、例えば 160 Hz など、該当するコントロールの LED が明るく点灯します。160 Hz のコントロールを少し下げ、サウンドの唸りを除去します。これとは逆に、プレゼンスの感じられない特定の信号（LED はうっすらと点灯します）を押し上げることも出来ます。

🔊 音量を上げるために周波数帯域のボリュームを上げる必要はありません。他の周波数帯域のフェーダーを下げることで同様の効果を得ることも出来ます。これによって内部信号レベルを高くしすぎることなく、必要なヘッドルームを確保することが出来るのです。

3.2.2 シェイプ機能

ULTRABASS のシェイプ機能は、ベースサウンドを完全に変えてしまうことが出来る革新的なタイプのフィルターです。このフィルターによって、現代のベースプレイヤーにとって必要不可欠なサウンドの「シェイピング」が可能となります。極端なフィルター設定によって、ベースサウンドによりパンチが増します。例えば

ライブでベースソロを披露したいが、音が突き抜けてこない。ソロは音に埋もれることなく、目立たせたいものです。まずは、チャンネル 1 で、ソリッドなベースサウンドを作ります。それからチャンネル 2 で、シェイプフィルターを使って特徴的なソロサウンドを作ります。シェイプフィルターはチャンネル 2 でのみ効果をもつため、ソロ前後で素早くチャンネルを切り替えお望みのサウンドを得ることが出来ます。

シェイプフィルターは、2 種の異なるベースを使用する場合に威力を発揮します。一つの楽器からまったく音色の異なる違う楽器に持ち替えたいと思うかもしれません。ライブの時は、各楽器に合わせてアンプをいちいち設定しなおす時間はありません。ULTRABASS では、一つの楽器にチャンネル 1、もう一つの楽器にシェイプフィルターを備えたチャンネル 2 を使用することが出来ます。

3.2.3 ウルトラベース機能 (BXL450 および BXL450A 以外)

ベースギターで可能な最も低い周波数音よりも、さらに 1 オクターブ下げた極度に低いベースサウンドは、現在の音楽製作においては非常にポピュラーなものです。しかしながら、ほとんどのベースアンプにはサブハーモニクス機能が備えられていないため、これはしばしばスタジオでしか実現できないことです。ULTRABASS は違います。ウルトラベースプロセッサーによって、このコンテンツボラーなベースサウンドが実現します。

このウルトラベース機能によって、ベースサウンドがどれだけ深みのあるものになるか、驚かれることでしょう。高音域で目立つために極端な設定をすることも面白い試みでしょう。もしローカットオフ設定でシェイプフィルターを使用していながら、ベースレンジにパワーが足りないと感じる場合は、サブハーモニクスプロセッサーが役に立ちます。パンチーなサウンドでありながら、より深みのある音色が実現します。

BXL1800, BXL3000, BXL1800A および BXL3000A では、付属のフットスイッチによって簡単にウルトラベース機能のスイッチオン/オフが可能となります。そのため、ある特定のパートだけを強調することが可能となります。

3.2.4 コンプレッサー (BXL1800/BXL3000 および BXL1800A/BXL3000A のみ)

コンプレッサーは、信号のダイナミックレンジを制限する際に使用します。シグナルピークはこれによって下げられ、弱い信号は音量的に持ち上げられます。そのため、最も高い信号レベルと最も低い信号レベルの差が縮められることとなります。結果的に、より力強いサウンドが実現します。

スラッピングといったテクニックを演奏することで、高いレベル差が生じることがあります。こういった場合、コンプレッサーは低レベルのサウンドをはっきりと聴こえるようにし、これによってベースラインにグルーヴを加えるのです。そしてサステインがより伸びやかになるのです。

- ▲ ON スイッチ [22] を押すとコンプレッサーが起動します
- ▲ COMPRESSOR コントローラー [21] を徐々に右に廻すと、コンプレッションの強度が強くなります
- ▲ ON スイッチを押して圧縮された信号と未処理の信号を比較します

コンプレッサーは、高い入力信号が供給されるとその威力を発揮します。信号レベルが低い場合、エフェクターは高い設定時のみで起動します。この場合、コンプレッサーを起動させると、極度にレベルの差が生じる場合があります。GAIN が高い場合、コンプレッサーは速い段階で機能しますが、その場合は、エフェクトを起動させるために COMPRESSOR コントローラーを上げる必要はありません。必要に応じて様々な設定を試し、ベストなサウンドを見つけてください。

ULTRABASS BXL450/BXL900/BXL1800/BXL3000

☞ コンプレッサーは、内蔵の保護リミッターとは独立して機能します。内蔵の保護リミッターは、すべての BXL モデルでは常に起動状態を保ち、装置をオーバーロードから保護しています。

外部エフェクト機器を使用する場合は、エフェクト装置の入力端子を ULTRABASS の FX INSERT SEND に接続し、出力端子を FX INSERT RETURN に接続します。ここに示されたフロアエフェクターの代わりに、ワウペダルや 19 インチのラックエフェクターを使用することも可能です。

4. 接続例

4.1 プレイバックを用いたセットアップ例

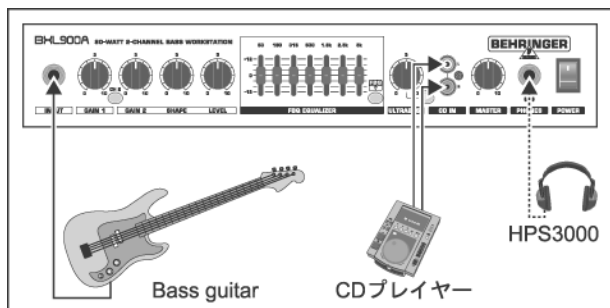


図 4.1: 標準的なセットアップ (ここでは BXL900A)

このセットアップはリハーサルや自宅での練習用に適しています。図 4.1 にある用に ULTRABASS を接続します。プレイバックを流す場合は、CD プレイヤーを CD 入力に接続します。もちろん、MD プレイヤーやコンピューターを接続することも可能です。

ヘッドフォンを使用して練習する場合は、ヘッドフォンを PHONES 端子に接続します。内蔵スピーカーが自動的にミュートされます。ヘッドフォンを接続する前に、必ず MASTER コントローラーを左端まで絞っててください。

4.2 ギグおよびスタジオレコーディング用の拡張セットアップ例 (BXL1800, BXL3000, BXL1800A および BXL3000A のみ)

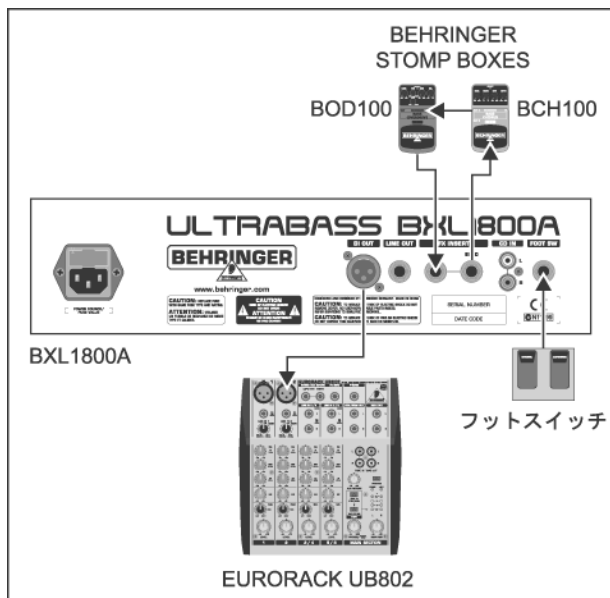


図 4.2: 拡張セットアップ (ここでは BXL1800A)

以下に示す接続例は、ライブギグやスタジオでの作業に適した、標準的なセットアップ例です。

装置に付属しているフットスイッチを ULTRABASS の FOOT SWITCH 端子に接続します。フットスイッチを使ってチャンネルを切り替え、ウルトラベース機能を起動させます。これは特にライブの際に大いに便利でしょう。

この他にも、ショートケーブル用に 6.3 mm TS フォンジャックタイプの LINE OUT を使用し、ラインレベル入力のミキサーを使用することも可能です。例えば、マイクを使わずにホームレコーディングする場合)。もちろん、この出力をもうひとつの SEND 端子としても、チューナー接続用としても使用できます。

4.3 ULTRABASS をスレイブとして外部プリアンプと併用した場合

BASS V-AMP や BASS V-AMP PRO といった他のベースプリアンプやモデリングアンプを使用したい場合は、このアンプを FX INSERT RETURN 端子に接続してください。そうすることで、ULTRABASS をパワーアンプとしてのみ使用することができ、2つの入力チャンネルは使用不可となります。

5. オーディオ接続

ヘッドフォン出力端子を除き、BEHRINGER ULTRABASS に備えられているすべてのフォンジャックは 6.3 mm TS フォンジャックとなっています。DI OUT 出力はバランス型 XLR コネクターです。CD 入力にはピンジャックとなっています。

☞ 本装置の設置は必ず専門家が行うようにして下さい。接地および操作の際には、本装置を完全な状態で作動させるため、作業者の接地を十分に確保して下さい。

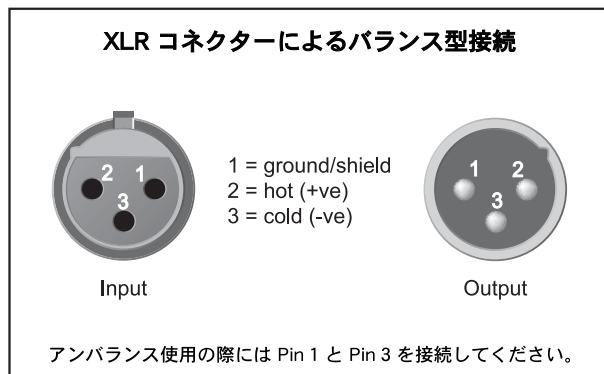


図 5.1: XLR 接続

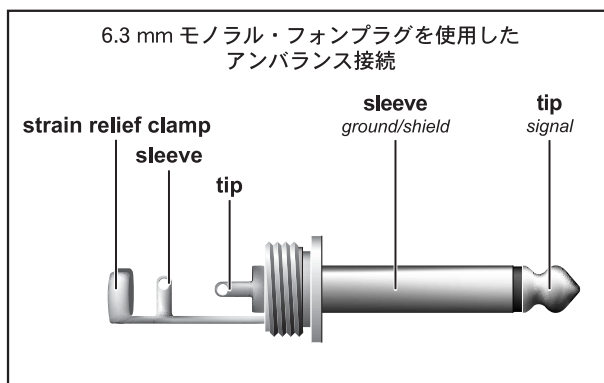


図 5.2: 6.3 mm TS コネクター

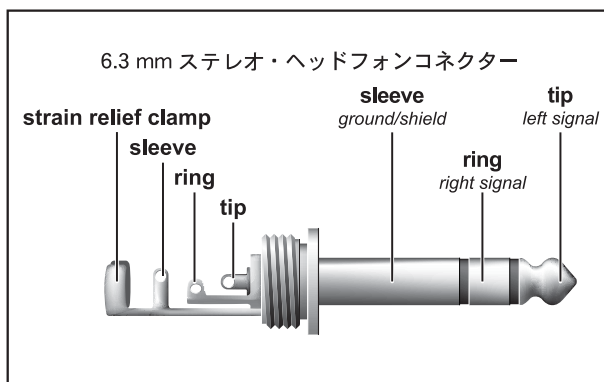


図 5.3: 6.3 mm TRS コネクター

6. テクニカル データ

	BXL450	BXL900	BXL1800	BXL3000	BXL450A	BXL900A	BXL1800A	BXL3000A
オーディオ入力								
入力		6.3 mm モノラルフォーンジャック				6.3 mm モノラルフォーンジャック		
入力インピーダンス		250 kΩ				250 kΩ		
テープ入力		RCA				RCA		
入力インピーダンス		40 kΩ				40 kΩ		
インサートリターン	-	6.3 mm モノラルフォーンジャック					6.3 mm モノラルフォーンジャック	
入力インピーダンス	-	50 kΩ					50 kΩ	
オーディオ出力								
フォーン出力		6.3 mm TRS ステレオフォーンジャック				6.3 mm TRS ステレオフォーンジャック		
DI コネクタ	-	XLR コネクタ					XLR コネクタ	
出力インピーダンス	-	500 Ω					500 Ω	
ライン出力	-	6.3 mm モノラルフォーンジャック					6.3 mm モノラルフォーンジャック	
出力インピーダンス	-	100 Ω					100 Ω	
インサートセンド	-	6.3 mm モノラルフォーンジャック					6.3 mm モノラルフォーンジャック	
出力インピーダンス	-	2.2 kΩ					2.2 kΩ	
システムデータ								
パワーアンプ出力	45 W @ 4 Ω	90 W @ 4 Ω	180 W @ 4 Ω	300 W @ 4 Ω	45 W @ 4 Ω	90 W @ 4 Ω	180 W @ 4 Ω	300 W @ 4 Ω
スピーカー								
タイプ	10"	12"	12"	15"	10" インチ	12" インチ	12" インチ	15" インチ
モデル	4 Ω	4 Ω	4 Ω	4 Ω	4 Ω	4 Ω	4 Ω	4 Ω
インピーダンス								
出力値	50 W	70 W	120 W	200 W	50 W	70 W	120 W	200 W
電源供給								
電源電圧								
			米国/カナダ 120 V~, 60 Hz				米国/カナダ 120 V~, 60 Hz	
			ヨーロッパ/英国/オーストラリア 230 V~, 50 Hz				ヨーロッパ/英国/オーストラリア 230 V~, 50 Hz	
			日本 100 V~, 50 - 60 Hz				日本 100 V~, 50 - 60 Hz	
			一般輸出用モデル 120/230 V~, 50 - 60 Hz				一般輸出用モデル 120/230 V~, 50 - 60 Hz	
消費電力	75 ワット	150 ワット	290 ワット	350 ワット	75 ワット	150 ワット	290 ワット	350 ワット
ヒューズ 100 - 120 V~	T 2.5 A H 250 V	T 3.15 A H 250 V	T 6.3 A H 250 V	T 6.3 A H 250 V	T 2.5 A H 250 V	T 3.15 A H 250 V	T 6.3 A H 250 V	T 6.3 A H 250 V
ヒューズ 200 - 240 V~	T 1.25 A H 250 V	T 1.6 A H 250 V	T 3.15 A H 250 V	T 3.15 A H 250 V	T 1.25 A H 250 V	T 1.6 A H 250 V	T 3.15 A H 250 V	T 3.15 A H 250 V
電源接続								
寸法/重量								
寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	459 x 361 x 349 mm	529 x 412 x 412 mm	522 x 413 x 419 mm	608 x 466 x 418 mm	459 x 361 x 349 mm	529 x 412 x 412 mm	522 x 413 x 419 mm	608 x 466 x 418 mm
重量	13.90 kg 30.6 lbs	19.45 kg 42.9 lbs	21.55 kg 47.5 lbs	27.45 kg 60.5 lbs	13.90 kg 30.6 lbs	19.45 kg 42.9 lbs	21.55 kg 47.5 lbs	27.45 kg 60.5 lbs

BEHRINGER社は最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は予告なしで行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する可能性があります。